

ZTE、IoT クラウドプラットフォーム「ThingxCloud」を発表

ZTE コーポレーション（以下、ZTE）は、このほど、上海 IoT サミットにおいて、「ThingxCloud」の次世代 IoT プラットフォーム製品を発表しました。

ZTE の「ThingxCloud」は、高度なテクノロジーアーキテクチャと豊富な基本機能を備えたベーシックな IoT クラウドプラットフォームで、アプリケーションやデバイスとの高い接続性を誇ると共に、内部でのデータ生成が可能です。さらに、IoT と IoT エコシステムの開発を可能にするほか、IoT 分野における共同構築、共有、そして WIN-WIN の関係構築を実現する素晴らしい機能を備えています。

oneM2M のテクノロジーアーキテクチャと PaaS、AI、ビッグデータといった ICT（情報通信技術）を基盤とする ZTE の「ThingxCloud」には、IoT デバイス、接続管理機能、およびアプリケーションの実行管理機能が含まれています。また、多様なベアラネットワークに適合すると同時に、異なるベアラネットワーク間の技術の相違を遮ることで、下位層ベアラネットワーク上で上位アプリケーションを透過的に利用できるようにします。

SDK（ソフトウェア開発キット）と API（アプリケーション・プログラミング・インターフェース）は、大量の端末からの IoT アクセスを簡素化し、データ共有を安全にし、あらゆる種類のアプリケーションに対して上位層 IoT アプリケーションとパブリックな基盤機能を制御可能にします。これにより、アーキテクチャ内で様々な IoT アプリケーションを大幅に最適化でき、開発・構築の難しさを軽減して構築・運用コストを削減します。一方、豊かな AI とビッグデータ機能を活用して、上位層アプリケーションに向けた新しいインテリジェンスを生み出すことが可能となります。

今後も、ZTE は強力な「ThingxCloud」プラットフォームに支えられながら、世界中のすべてのパートナーとの提携を通じ、IoT 業界の調和のとれた健全な発展を促進することに努めていきます。

本記者発表文の公式バージョンはオリジナル言語版です。翻訳言語版は、読者の便宜を図る目的で提供されたものであり、法的効力を持ちません。翻訳言語版を資料としてご利用になる際には、法的効力を有する唯一のバージョンであるオリジナル言語版と照らし合わせて頂くようお願い致します。

オリジナル言語版 (<http://www.zte.com.cn/global/about/press-center/news/201712ma/1212ma>)

本リリースに記載されている内容は、報道発表日時点での情報です。
その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【ZTE コーポレーションについて ～Leading 5G Innovations～】

ZTE コーポレーションは通信機器、ネットワークソリューションを提供する世界的なリーディングカンパニーです。業界大手としての包括的な製品群とソリューションにより、民間企業や政府機関向けの ICT ソリューションをはじめ、最先端のワイヤレス、アクセス&ベアラ、付加価値サービス、マネージドサービスなどを提供しています。ZTE コーポレーションの先進技術は、世界 160 ヶ国以上の 500 を超える主要通信事業者に、ビジネスの目標達成、競争力強化の面で貢献しています。さらに、スマートフォン、携帯電話、タブレット、Wi-Fi ルーターなどのモバイル機器は、世界中のエンドユーザーから人気と信頼を集めています。ZTE コーポレーションは世界知的所有権機関（WIPO）発表の特許国際出願件数で 2010 年から 7 年連続でトップ 3 に入っています。2016 年は特許を 4,123 件出願し、世界 1 位にランクされました。

ZTE コーポレーションは 5G 技術の開発においても、業界をリードしています。今年 9 月に中国北京で開催された「第 2 期 5G イノベーション開発フォーラム」では 5G トライアルテストにおける第二段階での技術試験証明書を、IMT-2020 (5G) Promotion Group より受領しており、「Leading 5G」企業として中国の 5G 戦略事業を全面的に支援し、5G 技術研究及び産業発展を促進しています。

■本リリースに関するお問い合わせ
ZTE ジャパン株式会社 モバイルターミナル事業部
TEL. 03-6221-6088 / pr_jp@zte.com.cn